

令和7年

第4回仙北市議会定例会

市 政 報 告

仙 北 市

令和7年第4回仙北市議会定例会 市政報告

令和7年第4回仙北市議会定例会の開会にあたり、主要事項についてご報告します。

はじめに、令和7年春の叙勲の受章についてです。

4月29日、春の叙勲の発表がありました。仙北市では、教育功勞で元生保内小学校長の安部哲男あべてつおさんが瑞宝双光章ずいほうそうこうしょうを、放送業務功勞で元日本放送協会職員の大河智おおかわさとるさんが瑞宝単光章ずいほうたんこうしょうを受章されました。

この度の受章は、永年にわたる職務の精励や功績、功勞が認められたものです。市民の皆さんと共にご労苦に感謝し、心からお祝いを申し上げます。

次に、行財政改革についてです。

5月2日から5月20日までに市民3千人を対象に実施した市民意識調査の集計及び分析作業を現在進めております。この調査結果は、市民の日常生活における意識や行動の傾向を把握し、今後の施策立案や展開に活用するための重要な基礎資料となるものです。調査結果は、取りまとめが完了次第、改めてお示しいたします。

また、各事務事業の効果や必要性、実施手法の妥当性・効率性などを総合的に分析・評価する「事務事業評価」についても作業を開始しております。最終的な判定結果については、総合政策審議会による外部評価等を経て9月頃にお示しいたします。

次に、仙北市の人口動態についてです。

4月30日現在の人口は2万2,615人で前年同月比577人減、世

帯数は1万241世帯で前年同月比83世帯減となっています。今年4月の出生届出数は^{しゅっしょうとどけですう}5人となっています。前年同時期の出生届出数は9人で、4人減という状況です。また、4月の転入は54人、転出は45人で、9人増となっています。

次に、一般会計補正予算（第2号及び第3号）についてです。

第2号の補正額は、5,679万3千円の追加で、補正後の額は240億1,181万4千円です。補正事業は、庁舎整備事業費で、角館上野庁舎改修工事にエレベーターの設置を追加するものです。地方債補正は変更です。

第3号の補正額は、2億4,841万7千円の追加で、補正後の額は242億6,023万1千円です。主な事業は、総合行政情報システム管理費、定額減税補足給付金事業費、仙北市民公開講座事業費、農地利用効率化等支援交付金、人と地域を創生する観光誘客事業費、児童・生徒観劇事業費、文学顕彰碑設置事業費、給食材料費などです。債務負担行為補正は追加、地方債補正は変更です。

なお、令和6年度一般会計決算見込み及び市税関係については、5月31日の出納閉鎖後の決算数値を精査し、最終確認を行った上で本定例会中に報告の機会を持ちたいと思います。

それでは、各部局等の主要事項及び諸般の状況を報告します。

【総務部】

◇ソフトバンク株式会社との包括連携協定締結について

4月30日、ソフトバンク株式会社と県内自治体では初となる包括連携協定を締結しました。

本協定は、自治体 DX の推進と行政サービスの向上を目的に、最新のデジタル技術を活用しながら、防災、インフラ、観光など多様な分野での連携を図るものです。市民の利便性向上や地域課題の解決に加え、業務の効率化と行政コストの削減にもつなげてまいります。

【企画部】

◇ふるさと納税について

当市の令和6年度ふるさと納税寄附額は過去最高の38億6,761万3,746円となり、全県1位となっています。

今年度のふるさと納税は、主力返礼品である「米」について、現下の社会情勢において令和7年度産米の価格見通しが不透明であり、確実な買い付けを確保する観点から、やや高めの金額設定を行っているため、5月末時点での寄附件数は4,746件と前年同月比50.6%に減少しておりますが、単価の影響により寄附額は前年同月比132.5%の約3億3千万円と前年を上回る寄附額で推移しております。

なお、ふるさと納税制度の拡大に伴い、全国的に返礼品の在庫管理に関する問題も報道されております。当市においてもそのような事態を未然に防ぐため、引き続き返礼品事業者との連携を密にし、情勢を注視しながら、より多くの皆さまからのご支援をいただけるよう努めます。

◇姉妹都市交流等について

4月19日、20日、恒例行事となっている「角館の桜まつり」での姉妹都市・交流都市物産展を開催しました。仙北市と姉妹都市である長崎県大村市、連携交流提携都市である茨城県常陸太田市、秋田県秋田市が特産品の販売を行い、全国から集まる観光客のみなさまに楽しん

でいただきました。

また、5月30日から6月1日までの3日間、長崎県大村市の「おおむら花菖蒲まつり」に合わせて大村公園で開催された姉妹都市・友好交流都市物産展で、仙北市の特産品販売を行ったほか、角館おやま囃子を披露し、盛況となりました。

今後も関係市とのご縁を大切にし、交流を実りあるものとしてまいります。

【観光文化スポーツ部】

◇あきた花紀行について

角館の桜まつりの入込客数は、4月15日から5月5日までの累計で81万7千人となっており、プレ開催を除いた対前年比で約106%となりました。前年度と比べてクルーズ船の来港や台湾などインバウンドの来場者が多かったため増加したものと考えられます。

刺巻水ばしょう祭りの入込客数は1万7千人となり、対前年比で約72%、かたくり群生の郷については4千人で、対前年比約78%という結果となり、天候不順等の影響により減少したものと推測されます。

今後も誘客宣伝活動を通じて、あきた花紀行の魅力発信に努めてまいります。

◇全国伝統的建造物群保存地区協議会について

5月14日、都内で開催された「全国伝統的建造物群保存地区協議会役員会」、「伝建にぎわい推進議員連盟総会」に出席し、全国106自治体、129地区の代表として、令和8年度予算獲得に向けた要望説明を行いました。

当日は、超党派の国会議員35人全国伝建地区の首長等55人の

参加があり、昨今の資材・人件費高騰による文化財所有者やそれを支える自治体の負担増大など、現状と課題を説明の上、国の令和8年度概算要求前の時期に、予算の確実な獲得に向けて支援をお願いしました。

◇角館のサクラ文化財指定50周年記念シンポジウムについて

5月18日、桧木内川堤のソメイヨシノが国の名勝として指定され、角館町内全域のシダレザクラが国の天然記念物に指定されてから50年が経過したことを記念し、シンポジウムを開催しました。

午前の部は、桧木内川堤桜並木で市民の方々と共にサクラの^{せひ}施肥活動を行い、午後の部では、仙北市さくらアドバイザーの^{くろさかのぼる}黒坂登氏に基調講演を行っていただきました。

その後、角館中学校2年生の代表生徒によるサクラの樹木診断結果の発表や、秋田県立大学の^{まきたあきふみ}蒔田明史副学長をコーディネーターにお迎えして、角館のサクラを50年先へ引き継ぐために必要なことをテーマにパネルディスカッションを行うなど、文化財指定50周年記念にふさわしいシンポジウムを開催することができました。

◇秋田駒ヶ岳山開きについて

6月1日、秋田駒ヶ岳の山開きが開催され、市の観光関係者や一般登山者などがシーズン中の無事故を祈願しました。今年は残雪が多くみられましたが、当日は天候にも恵まれ、八合目で神事を行った後、記念登山へ出発しました。仙北市側からは約100人、雫石町側からは約40人の方々が参加し、男岳頂上^{おだけ}でピッケルを交換し登頂を祝いました。

◇第38回田沢湖マラソン申込期限の延長について

第38回田沢湖マラソンのエントリー人数は、申込期限の5月28日

時点で2,636人と、前年と比較して535人の減となりました。より多くのランナーに参加いただけるよう、申込期限を6月10日（火）まで延長しております。

全国からたくさんのランナーに参加いただけるよう、引き続き準備を進めてまいります。議員の皆様からのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。

なお、県道相内^{あいないがたかた}潟野線の昨年土砂が流出した箇所^{ちざん}の治山工事は順調に進んでいると伺っております。

【農林商工部】

◇新規就農者等の確保・育成について

仙北市の農業の担い手育成について、今年度は新規研修者2人、2年目研修者1人が農業研修に取り組んでいます。また、昨年度で研修を修了した1人が新規就農者として営農を開始しており、地域農業を牽引する担い手として成長されるよう期待しています。

◇^{こうひょう}降雹、強風による農業被害について

4月26日夜に発生した^{こうひょう}降雹により、神代地区の花き2ha、そらまめ1haのほ場の一部で、^{けいよう}茎葉の欠損被害が確認されており、今後の生育への影響が懸念されるほか、西長野、中川、白岩地区において降雹及び強風によるビニールハウスの被膜被害が8件確認されています。

また、5月31日に発生した強風により、生保内地区のビニールハウスで2棟の全壊を含む12件19棟の被害が確認されました。

春先から天候不順が続いていますので、今後の作物の生育状況等についても注意深く情報収集してまいります。

◇田沢湖玉川地区の国有林への入山禁止措置について

秋田森林管理署・秋田県・仙北警察署・田沢湖地方猟友会などで構成されるツキノワグマ対策連絡会議では、田沢湖玉川地区の国有

林でのツキノワグマ生息状況などを踏まえ、今年度も引き続き5月12日から秋の降雪期までの間、国道341号沿いからの国有林への入林禁止を決定しております。皆様の安全・安心を確保するため、ご理解をお願いします。

◇鳥獣の出没について

5月に入ってからサルを目撃情報が多数寄せられており、神代地区では、畑作物などの食害が発生しております。民家の玄関先に居座るなどの被害もありますが、今のところ人身被害は発生しておりません。

クマの出没につきましては、5月中旬頃から目撃情報が増加しており、八幡平登山道の仙北市側で人身被害が1件発生しております。

市民への注意喚起を継続し、情報提供等を展開します。

◇土地改良事業について

農地集積加速化基盤整備事業は、今年度も引き続き神代地区で行われます。農地中間管理機構関連ほ場整備事業は、引き続き中川地区で面工事を行い、大瀬蔵野^{おおせぞうの}地区でも面工事に着手します。

ため池等整備事業では、用水路の老朽化に伴い若松堰^{わかまつぜき}土地改良区管内において、かんがい排水事業により本工事^{ほんこうじ}に着手します。

引き続き国への要望等を行いながら事業を進めてまいります。

◇誘致企業認定について

4月14日、神戸ビーフ取扱量日本一を誇り、神戸牛専門店を全国に64店舗展開している株式会社吉祥吉ホールディングスの現地法人「桜こまち株式会社」を仙北市の誘致企業として認定しました。角館町横町に「桜こまち 武家屋敷店」が開業しており、吉祥吉グループとしては、東北地方初の出店となります。観光資源との相乗効果により、観

光振興と地域経済の活性化につながることを期待しています。

◇これが秋田だ！食と芸能大祭典2025について

5月24日、25日、秋田市を会場に「これが秋田だ！食と芸能大祭典」が開催されました。オープニングイベントでは、鈴木健太^{すずきけんた}秋田県知事をはじめ、私を含め県内14の市町村長が出席し会場を盛り上げました。

伝統芸能演舞ステージでは角館祭りのやま行事が出演し、お囃子、手踊りが披露され、来場された方々にお祭りの魅力を伝えました。

また、紙風船上げの願いごと記入や市町村観光物産PR等のコーナーも設けられ、県内各地の食や伝統芸能が楽しめる賑やかな祭典となり、2日間で9万8千人の来場者を迎えました。

【建設部】

◇令和7年度国庫補助事業について

令和7年度の国土交通省道路局所管の国庫補助事業について、市道等の整備を行う「社会資本整備総合交付金事業」は、国費要望額に対しての内示率は56.7%で、国費額で9,510万7千円の内示がありました。

既存の橋梁補修をメインとした「道路メンテナンス補助事業」は、昨年同様に国費要望額の満額、2億5,960万4千円の内示となりました。今後も引き続き道路整備予算確保のため要望していきます。

◇国道整備促進期成同盟会について

5月1日、大仙市の大曲エンパイヤホテルを会場に高規格道路本荘大曲道路整備促進期成同盟会の通常総会が開催されました。

また、5月23日には、グランデールガーデンを会場に国道46号「高

規格道路」盛岡秋田道路整備促進期成同盟会と大曲鷹巣道路整備促進期成同盟会の合同総会を開催しました。

本荘大曲道路、大曲鷹巣道路は共に秋田県の縦軸となる国道105号、国道46号盛岡秋田道路は岩手県と秋田県の県都を結び、秋田県の横軸で、いずれも地域の発展に大きく寄与する重要な道路です。

今後も両同盟会の会長として、関係自治体と連携し、要望活動など、国道整備促進に向けた取り組みを強力に進めます。議会の皆様の特段の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

【医療局】

◇令和6年度決算見込みについて

角館総合病院は「仙北ウェルビーイング地域医療・総合診療連携講座」による秋田大学との連携効果もあり、入院患者が増加し医業収益で1億円程の改善となりますが、両病院で外来患者の減少や人件費・物価高騰による経費の増加が大きく、田沢湖病院は1億8,913万3千円の赤字、角館総合病院は6億2,048万4千円の赤字となり、資金不足比率が35.1%となる見込みです。この比率は、公営企業として危機的状況にあることから、令和7年度内に経営健全化計画を策定し、更なる経営の改善に努めます。

◇角館総合病院の病棟再編について

角館総合病院は、持続可能な病院運営に向けて、7月1日から現行の4病棟から3病棟に再編成を行います。回復期病棟の集約と病床数を170床から152床に削減し、病床機能や病床数の適正化による経営改善を図ります。本定例会に関連議案を提案しておりますので、ご審議下さいますようお願いいたします。

以上、主要事項及び諸般の報告を申し上げます。本定例会に提

案している案件は、報告関係9件、専決処分関係3件、条例関係3件、
予算関係3件、その他4件の計22件です。

慎重審議の上、ご可決を賜りますようお願い申し上げ、市政報告と
します。